

# 中国（福建省）の培智学校の職業教育の現状と課題

— 培智学校を対象とした質問紙による調査結果の検討 —

○陳 玉欣

竹林地 毅

（広島大学大学院人間社会科学研究科）

（広島大学大学院人間社会科学研究科）

KEY WORDS: 知的障害 職業教育 企業との連携

（目的）

中華人民共和国（以下、中国とする）の「関与進一步加快特殊教育事業發展の意見」（教育部、2014）では、職業教育の發展を通して障害者の就職を促すこと、特殊教育学校で基礎的な労働技術を身につけさせるため、実践活動を取り入れた教育課程を展開すること、生徒の状況や地域の状況に応じた職業教育課程を実施する必要があることを指摘されている。一方、知的障害のある生徒を対象とした職業教育の実施には、外部からの支援が少ない、職業教育の時間数の不足、施設設備の不備などの困難があり、知的障害者の就職率は低い現状があることも報告されている（李秀・趙碧燕、2016）。

本研究では、質問紙調査により、①中国福建省の培智学校の職業教育の現状②培智学校と企業との連携の現状③培智学校の職業教育の質への関与要因④関与要因間の関係について明らかにし、培智学校の職業教育の在り方を検討した。

（方法）

1. 対象：縁故法により中国福建省の培智学校 14 校の学校長の許可を得て、職業教育を担当する教師合計 181 名に依頼した。
2. 調査内容：職業教育に対する評価 13 項目、職業教育の実施に関する困難度 23 項目、職業教育担当教師の専門性 8 項目、職業教育の効果 13 項目、企業との連携 5 項目。
3. 配布・回答方法：web アンケートフォームで配布・回収した。
4. 調査期間：202X 年 4 月 19 日～6 月 5 日。
5. 分析：SPSS Version 24 (IBM, 2016) で探索的因子分析を行った。得た因子を従属変数とし、職業教育の実施に関する困難度を独立変数とし、1 要因分散分析を行った。また、探索的因子分析の結果に基づき、SEM (Structural Equation Modeling: 構造方程式) モデルを構築した。

6. 倫理的配慮：広島大学大学院教育学研究科研究倫理審査会の承認を得た。（承認期日 2020 年 1 月 29 日 承認番号 2019521）

（結果）

1. 回収率及び有効回答率：回答数は 181 名、回収率は 100%、有効回答率は 100%であった。
2. 職業教育の現状：作業種目は、「料理」、「家政」、「美術関係」が多く、50.0%以上である。また、職業教育を担当する教師の職業教育を実施する時の困難度が高かった。特に、生徒の働く力の育成に関係する「自立生活」、「働く技能」、「人間関係」などの内容の困難度が高かった。
3. 培智学校と企業との連携の現状：職業教育を実施するために企業と連携している学校は 1 校 (6.7%)、外部機関と連携している学校は 4 校 (26.7%)、地域資源を活用している学校は 2 校 (13.3%) であった。企業や外部機関との連携が不足しており、地域資源を活用することができていないこと、企業の協力を得て、職場体験や職場実習を十分に展開できていないと考えられた。
4. 培智学校の職業教育の質への関与要因：因子分析（最尤法・

chi-square=190.271  
df=87  
chi-square/df=2.187 p=.000  
GFI=.890 AGFI=.848  
CFI=.967 RMSEA=.081

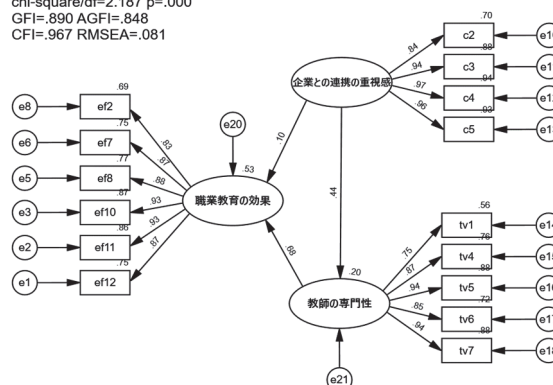


図 1 培智学校の職業教育の質への関与要因モデル

プロマックス回転) を行った結果、「職業教育により、知的障害者は期待されている速度で作業できるようになると思う」等の「職業教育の効果」( $\alpha=.961$ )、「就職するため知的障害者に求められるスキルを高める指導法をよく知っていると思う」等の「教師の専門性」( $\alpha=.963$ )、「企業と連携して、職業教育を進めることがとても必要だと思う」等の「企業との連携の重視感」( $\alpha=.978$ ) の 3 因子を得た。

5. 関与要因間の関係：1 要因分散分析の結果、5%水準で有意な差が得られた ( $F(2, 178) = 5.09, p < .05$ )。媒介分析の結果と職業教育の質のモデルパス係数解析の結果を図 1 に示す。

「企業との連携の重視感」は「教師の専門性」に有意な正的影響があり、「教師の専門性」は「職業教育の効果」に有意な正的影響があることが明らかとなった。

（考察）

李秀・趙碧燕 (2016) が指摘しているように、培智学校では、地元の企業の特徴に応じた作業種目を設定し、教育課程を開発する必要があると考えられる。

また、培智学校の職業教育の効果を高めるため、企業と連携して、職業教育担当教師の専門性の向上を図る必要があると考えられた。そのため、培智学校の管理職は企業との連携関係を作ること、企業が学校の職業教育に参加することが必要である。

また、職業教育担当教師が、企業で実習し、知的障害者に企業から求められる力を体験的に学び、職業教育を実施する必要があると考えられた。

（文献）

李秀・張碧燕 (2016) 福建省智障学生職業教育現状調査研究 中国特殊教育, 2016, 49-54.

竹林地毅 (2015) 特別支援学校 (知的障害) 高等部教員の養成プログラムの開発. 研究成果報告書.

(CHEN Yuxin, CHIKURINJI Takeshi)